

4就鳥と云だより



年頭のご挨拶 千鷲会会長 佐藤 敏博



会員の皆様、賛助会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。総会にて決定されました本年度の各種事業について、概ね順調かつその目的を達成しているものと自認しています。さらに、一昨年から検討が開始されていきました千鷲会独自のウェブサイトを（ホームページ）の作成についても、昨年八月末には関係者の努力もあり公開となつています。本年は、一つ一つの行事や活動を再定義しながら、ホームページ

の内容を含め一層の充実に向けて努力し、もって会勢の拡充に努めて参りたいと思っております。現下の我が国を取り巻く安全保障環境は、尖閣諸島への不法活動等に代表されるように益々厳しさを増しています。後輩隊員を支える千歳基地の安定運営のためには、さらに千歳会が力強い存在であり続けることが必要です。そのために、会員一人一人が百献可能な手段で、即ち趣味や得意分野での能力を発揮することが、実効的であり重要であると考えています。何卒、昨年以上の積極的な協力をお願い致します。最後になりますが、会員・賛助会員の皆様並びにご家族皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。



航空自衛隊 千歳基地
千鷲会

待望の千歳基地研修

昨年度は実施できず会員が待望していた千歳基地研修が基地広報室・所在部隊の協力で10月27日、11月4日の2回、会員30名が参加して行われた。研修は小川基地司令による防衛講話から始まり、特別輸送航空隊で邦人輸送・機内装備品等の説明、第201飛行隊ではF15イーグルの研修、千歳救難隊では救難ヘリの研修、そして最後に基地隊員食堂で体験喫食を行った。



研修日により、研修内容の変更あり。会員達は在隊時とは大きく様変わりする施設や装備に目を見張り、懐かしそうに当時を思い出しながら、各研修場所では撮影制限がある中、持参したカメラで思い出にと構図を駆使して記念写真に留めていた。特に隊員食堂では懐かしい味に舌鼓を打ちながら、それぞれに感想を述べていた。



参加者は研修を終え、N班長(当時)「一桁期がやらなければ!と企画した。まさか、こんなに最後の教育隊だっただけに、良い名前だね」とシミシミ感じ人

きんもくせいのお云 WAF 40周年

昨年11月、市ヶ谷ランドヒルにて、WAF(空自女性自衛官)の40周年記念パーティーがありました。公券1期を始め、新隊員1期から現在までの各期、北海道から沖縄まで津々浦々、現役からOGの276名が一同に集いました。しとやかさを身につけつつも、話をしだすと勇ましさが見れる。あ、ヤツパリ自衛官!と嬉しく思っちゃいました!



「きんもくせいのお云」の名称は、入隊時の入間基地に漂っていたキノクセイの香りに想いを寄せて命名、入間最後の教育隊だっただけに、良い名前だね」とシミシミ感じ人

平成二十七年千鷲会 新春の集い
日時：2月28日(土) 18時
会場：クラウンテラス千歳
会費：五千円
※後日、ご案内をお出しします。

今後もう5年毎に開催予定とか...
益々の盛会と絆の深まりを祈ります!
千鷲会会員 松倉みか